

「OPEN 異能vation 2019」 6年目を迎える異能vationプログラム授賞式が開催！ 全国各地から“異能”が集結し応募総数は過去最高を記録！

株式会社角川アスキー総合研究所（本社：東京都文京区、代表取締役社長 加瀬 典子、以下当社）は、2019年10月30日（水）東京ミッドタウン日比谷6階BASE Qホール（東京都千代田区有楽町1丁目1-2）にて、様々なイノベーションを生み出すへんな人（異能人）を応援する総務省の「OPEN異能(Inno)vation2019」異能(Inno)vationプログラム授賞式を開催致しました。



今年で6年目を迎える本プログラムでは「異能(Inno)vation」推進大使に就任している古坂大魔王を始め、異能(Inno)vationプログラムのスーパーバイザー、プログラムアドバイザー、そして高市総務大臣をはじめ多くの国会議員の方々も登壇。

イベント冒頭では、高市総務大臣から「イノベーションの力で日本を安心して暮らせる安全な国、そして便利で生産性が向上して持続的な成長を続ける国にしていきたい」と本プログラムへのメッセージを語っていただきました。



高市総務大臣



古坂大魔王

＜本件に関する問い合わせ先＞

株式会社 角川アスキー総合研究所 異能vation事務局

お電話でのお問い合わせ：03-5840-7629

受付時間：月曜日から金曜日（祝日を除く）10:00～18:00 担当：菅原

E-mail：inno@lab-kadokawa.com

■ 応募総数13,187件の中から「ジェネレーションアワード」を表彰

ジェネレーションアワードでは「未来がより良くなるような、ちょっとした独自のアイデア」「こだわりの尖った技術やモノ」「自らが発見した実現したい何か」を募集し、応募総数は過去最高の13,187件に達しました。その中から185の協力協賛企業グループのノミネートを経て分野賞を表彰致しました。



■ 異能Grandチャレンジでは異例の賞金総額1億1653万円

「地域活性につながるようなテーマ」「解決の糸口が見えていない課題」「社会的に取り組むべきテーマ」などの課題に対して企業がプライズする『異能Grandチャレンジ』。今回15の課題が企業から提起され、その賞金総額は行政案件では異例の1億1653万円となりました。

全世界からのチャレンジャーを募り、Grandチャレンジに参加することで、新たな可能性を発掘していきます。



【古坂大魔王コメント】

異能vationは一個一個がすごすぎて全部見ているとイベントの後はへとへとになります。もっと深堀りをしていくと三日ぐらいかかってしまうと思います。だから、異能vationはフェスでやってほしいなと思ってます。

私もどうやったらそんな曲作れるんですか、どうやったらコントが作れるんですか、とかよく聞かれるんですけど、才能なんてものは誰も持っていないと思ってます。人がしゃべったことのどの部分に自分で二重丸をつけるかが変わっていて、アンテナの角度がまわりと違っているだけだと思います。

異能vationを通してそういう夢中な人たちをこれからも応援していきたいと思っています。



開催概要

- 名 称 : OPEN異能vation2019 (読み: オープンイノベーションニセンジュウキュウ)
- 日 時 : 10月30日 (水) 13:00~17:00
- 場 所 : 東京ミッドタウン日比谷 BASE Q 6階イベントスペース
- 主 催 : 異能(Inno)vationプログラム 業務実施機関
- 協 力 : 協力協賛企業グループ (<https://www.inno.go.jp/sponsor/>)
- 「異能(Inno)vation」公式サイトURL : <https://www.inno.go.jp/>

【異能(Inno)vationとは】

情報通信技術（ICT）分野において、破壊的価値を創造する奇想天外でアンビシャスな技術課題に失敗を恐れずに挑戦する人（通称：変な人）に対し、最大300万円までの支援を行っている総務省によるプロジェクト。異能vationプログラムは課題への挑戦を支援する「破壊的な挑戦部門」と協力協賛企業が独自のアイデアを表彰する「ジェネレーションアワード部門」の2部門で構成されており、異色多様な挑戦が地球規模を超える勢いで飛躍をしております。

■受賞者一覧

●分野賞

- ・何かが新しく見えるようになる賞
「物体をタッチしている箇所の三次元座標をリアルタイムに計測する点型デバイスの開発」：吉田貴寿
- ・匂いに関する賞
『ラップボン』（自動ラップ式トイレ：日本セイフティー株式会社
- ・何か・どこかに届くようになる賞
スパイア【SPAIA】 | スポーツ×AI×データ解析 総合メディア：株式会社グラッドキューブ
- ・大きく広がる賞
人の神経をまねた人工神経センサとその視覚拡大・補強への応用：山田駿介
- ・時間が変わる賞
LINEに画像を送ると、AIが3秒で文字起こし「文字起こしぱりぐっどくん」：株式会社西海クリエイティブカンパニー
- ・高く到達する賞
既存の組織形態におけるコミュニケーションでは解決が難しい地球規模の課題への自然思考的アプローチ：ロベル アダム
- ・何か・どこか・誰かとつながる賞
“研究設備・技術のシェアリングプラットフォーム「Co-LABO MAKER」：株式会社Co-LABO MAKER

・企業賞

農業人材のシェアリングにより農家の人手不足を解決日本初！農業に特化したデイワークアプリ『シェアグリ』：株式会社シェアグリ
“ドローン災害予測システム DSYS”：つじりゅういち
“LoRaWANを用いた新配車サービス～地方高齢者のQOL向上で誰も取り残さない社会を目指す～：井戸直登
アルバイトの課題を解決する、アルバイトテックプラットフォーム「CAST」：hachidori株式会社
4D光クレヨン：土井滋貴
細かく小さいロボットから生まれる形が自由自在に変形するロボット：佐藤慎
点字ブロックがブロック（邪魔）だなんて言わせない！「音声誘導ICT点字ロード」：山田貴子
高齢者の問題は高齢者だけで解決しない。若者とシニアの共創によるアントレプレナーシップ育成プログラム：林志洋
SOUND FABRIC ORCHESTRAー音を着る、ファブリックスピーカー：Olga
119番アプリ：池田優斗
障害VR体験による障害者理解の一步 ー自閉症者の感覚過敏疑似体験を通じてー：宮崎英一
散乱光や反射光を最大限利用する針葉樹型太陽電池による直流電源装置：前田学
敬語CHANGER yell 【K5クン・ため口さん】：桑田明
ブレインストーミングを進化させる「バーチャル付箋紙」：重浩一郎
HITORIMO-ZEN- ぜんまいと電気のコラボレーションによる、太陽を感じる香りの窓：眞鍋美祈
SPELL MASTER スペルマスター：「英語学習」を「魔法学習」へ変える魔法陣：松井瑞貴
ほっこりボタン：川村裕介
筋電義手普及の問題の解決に向けた、マイクロホンを用いた筋電位によるバーチャル筋電義手とそのアプリケーションの開発：佐藤 直人・大塚 喜晴・堀口 リオン・松田 瑚光瑠・張玉
サトウ ナ
“AI契約書チェックサービス「AI-CON」”：GVA TECH株式会社

＜本件に関する問い合わせ先＞

株式会社 角川アスキー総合研究所 異能vation事務局

お電話でのお問い合わせ：03-5840-7629

受付時間：月曜日から金曜日（祝日を除く）10:00～18:00 担当：菅原

E-mail：inno@lab-kadokawa.com